

稲森としなおのあゆみ

▼1983年11月16日伊賀市生まれ
▼大東文化大学法学部政治学科卒業
▼三重大学大学院人文社会科学研究所
科修了(修士課程) ▼介護施設職
員・市議会議員を経て、2015年4月
から県議会議員2期目 ▼三重県環境審
議会委員・伊賀青年会議所理事長など
を歴任 ▼現在、地域政党草の根運
動いが代表・県議会戦略企画雇用経済
常任委員会委員 ▼伊賀市柏野で両
親・妻・子ども2人と暮らす。
趣味は乗り鉄・美術館めぐり、好きな
映画「きみはいい子」(呉美保監督)、
好きな歌「教訓1」(加川良)、愛読書
「市民自治」(福嶋浩彦)

最後の訴えを聞いてください!

4月8日(土)

19時45分～伊賀支所前(下柘植)

稲森としなおに大逆転の1票を



「伊賀の存在感」を県議会に。 ひとりひとりが大切にされる「希望」の県政へ。

ずいぶん遠くにあった県政を、市民みんなの手に取り戻したい!との思いを胸に
県議会に送り出していただき8年がたちました。伊賀地域の魅力や課題解決を訴え、
教育や福祉の充実、農業や環境を重視した地域づくりに力を入れ、人権と多様性
が大切にされる三重県をめざして、時には「おかしいことはおかしい!」と一歩
も引かずに、誰よりも活発な議会質問を重ねてきました。

県議会にいと様々な「理不尽」なことも経験をします。特に伊賀市の県議定数
の削減は、人口比例に基づかずに数の力で押し通されてしまいました。まさに大き
な会派による「伊賀市切り捨て」でした。でも、おかしいことや理不尽なことに黙っ
ていては県議会は変わらないし、私たちの願う政治や伊賀の発展はあり得ないと思
うのです。みんなで伊賀を「モノを言う地域」にしていきませんか。

そして、政治は誰がやっても同じではない。大きな組織の代表ばかりではない、
虹色のような、カラフルな三重県議会に。その先に、ひとりひとりが大切にされる
「希望」の県政があります。



としなお
稲森
39歳
草の根運動いが